

早まる条例化の手続き(07.07)

芝 忠

中小企業振興条例づくりの運動を展開していますが、県当局の策定進行具合が私の目論見と異なり、大幅に前倒しされることとなりそうです。当初、08年1月に策定委員会設置、約1年の検討を経て、09年2月の県議会で条例採択、4月施行と考えていたところ、本年9月に策定委員会の第1回目の開催(かながわ産業活性化懇話会)、来年6月議会で条例の制定という準備計画だそうです(県産業活性化課長)。「結果的に09年2月議会にずれ込むかも知れないが、それを目標にすると遅れる可能性もある」ということのようにです。「十分な討論」をするという点では多少疑問が残ります。恐らく、他府県(埼玉・福島・千葉・京都・熊本等)が先行し、さらに北海道・沖縄県等が本年度の採択を予定しているという情報の中で、松沢知事としては早く実現させて、遅れたくないという心境のようです。しかし形だけ真似ても魂が入らなくては、実現した条例が役立たずとなります。

一方、千葉県では、農政や環境、建築・土木等の他の部局での法律運用が中小企業の発展を阻害しないような歯止めをかけるために、庁内での調整を行った上での条例づくりだったということですが、そこまで行くとしたら「調整に時間がかかる」(藤井県産業活性化課長)し、また我々が期待しているように、もし市町村も同時に条例化するという事態になれば「県と市町村との役割分担で調整が必要」となり、さらに時間がかかると言っています。

従って、それらの点を十分検討した上での条例化が望ましいと思います。特に大企業との関係や、具体的な施策要望との関係など、単に理念的な条例化だけでは済まない問題があり、一考を要するところです。なお、「活性化懇話会」の委員は現行10名を20名程度に増員し、うち2名を一般から公募します。この辺は千葉県を真似ています。委員会は原則公開・傍聴可能ということです。

さて第2回目のセミナーを7月27日(金)午後5時30分から開催いたします。神奈川大学の大林弘道先生から「中小企業振興条例を必要としている中小企業の最近の状況」についての問題提起と、先行して条例化した千葉県経済政策課の経験をお話いただきます。単に振興条例の内容だけでなく、これからの中小企業の在り方にまで彫り込んだ議論になると期待しております。また第3回目は10月1日(月)、横浜国大の三井逸友先生と東京都墨田区(または大阪府八尾市)の方をお呼びする予定です。

今回のセミナー開催に際して、各中小企業団体等の政策要望を提案していただくよう、9月末を目指した要望調査を実施しております。これもご活用いただくようお願いいたします。異業種交流グループにもお願いいたします。

次回のご案内**第2回中小企業振興条例づくりセミナー(勉強会)**

日時:H19年07月27日(金)17:30~20:00 (希望者へは懇親会をセットします)

場所:神奈川中小企業センター13階 第二会議室(横浜市中区尾上町5-80)

第一部 講演1:「中小企業振興条例を必要としている中小企業の最近の状況」神奈川大学教授・大林弘道氏

講演2:「千葉県中小企業振興条例の内容と制定の目的」千葉県商工労働部経済政策課・石井慶範氏

第二部 討論会 参加費:1000円 申込締切:7月25日(水) 資料準備のため事前申込ください。

事務局:かながわ異グ連 芝、八幡、島津龍男、島津俊之 tel045-633-5142 fax045-633-5194

次々回のご案内**第3回中小企業振興条例づくりセミナー(勉強会)予定**

日時:H19年10月01日(金)17:30~20:00 (希望者へは懇親会をセットします)

場所:神奈川中小企業センター13階 第二会議室

講師には、横浜国大三井逸友教授及び東京都墨田区(または大阪八尾市)からを予定。

産学官交流サロンのコーナー**第9回(7月9日)西湘サロンの報告**

吉池正樹 BC

今回の話題提供は「おだわら街なか起業家支援センター」を利用されている若手のベンチャー(有)島旅ツーリスト代表取締役植田裕範氏でした。「小田原から楽園沖繩へ～島旅の勧め」とのテーマで、植田氏が提供された沖繩銘菓「ちんすこう」をつまみながら、白い砂浜、青い海、きれいな星など沖繩の魅力についての話を聞きました。一人旅でも、ツアーパックを利用することにより格安にできるそうです。

この後、テレビ神奈川で放映された「高齢者向け木のおもちゃ」のビデオを見ながらの交流に移りました。このビデオは、第2回西湘サロンで、露木木工製作所が話題提供されたことがきっかけで、朝日新聞の記事となり、さらにテレビ神奈川から取材を受けて特集となったものだそうです。

おなじみ尾上町サロン

8/13～17は事務局の夏休み！17日のサロンもお休みです。

日時：毎月第一・三金曜日（7月20日、8月3日）会場：神奈川中小企業センター5F産業交流プラザ
 連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、八幡、島津龍男、児玉、鈴木 045-633-5142

第10回 西湘サロンの開催案内

日時：H19年09月10日(月)18:00～20:00
 会場：あいおい損保小田原支社 3F会議室
 小田原市城山1-6-22 瀬戸ビル
 話題：「山北丹沢水系の天然水を利用した清涼飲料について」
 神奈川柑橘果工株式会社 総務部長 井上卓司氏
 （首都圏消費地を背景に、美味しくて豊富な天然水を利用した商品を提供している企業です）
 問合せ、申込：神奈川異グ連事務局 芝、島津俊之、吉池
 参加費：1000円 TEL：045-633-5142

第21回横浜サロンの開催案内

日時：H19年07月26日(木)18:00～20:30
 会場：ヘリオス関内ビル 2F会議室
 横浜市中区元浜町3-21-2
 話題：「新しい中小企業運動と中小企業憲章」
 (株)開明製作所代表取締役 石館治良氏
 (神奈川県中小企業家同友会政策委員長)
 問合せ、申込：神奈川異グ連事務局 芝、池谷、杉本
 FAX:045-633-5194 e-mai: dzl01040@nifty.ne.jp
 参加費：1000円 tel:045-633-5142

第21回三浦半島経済人サロン

日時：7月19日(木)18:00～20:30 参加費：1000円
 会場：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室
 横須賀市小川町21-9(京浜横須賀中央駅10分)
 話題：「三浦ブランド認定事業の創設」
 三浦商工会議所中小企業相談所 内騰 功氏、
 (有)くろば亭 代表取締役 山田芳央氏
 問合せ、申込：神奈川異グ連事務局 八幡 045-633-5142
 防衛大学名誉教授 鶴野 046-836-6785

第20回川崎経済人ネットワークサロン

日時：8月7日(火)18:00～20:30
 会場：神奈川サイエンスパーク西棟310会議室
 川崎市高津区坂戸3-2-1KSP西棟3F
 話題：「グローバル化の中での川崎の現状と課題」
 川崎市アジア起業家村 牟田口雄彦氏
 (株)総合ヘルスケア研究所会長
 問合せ、申込：神奈川異グ連事務局 芝、松井、渡部
 参加費：1000円 045-633-5142

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**活気ある“のげ浮世床”の報告**

織方BC

横浜市中区野毛町界隈の活性化策として、第二回目の“のげ浮世床”が、7月2日(月)15:00～20:00近くまで、「横浜にぎわい座(小ホール)」にて、文字通りにぎやかに開催されました。

神奈川異グ連の南出議長(オーパシステムエンジニアリングKK社長)や、野毛地区街づくり連合会の神田信男会長をはじめ、一般参加者60数名で、「野毛ストーリー」(サンケイ新聞社刊)の筆者の齊田勝彦氏が対話のメインとなり、ゲストとして金久保久雄氏(果物商2代目店主)、藤沢智晴氏(村田屋店主)等の皆様に、野毛の今昔と将来を語っていただきました。野毛界隈の再生に関し、会場も一体となって活発な討議が行われました。

続いて、麒麟麦酒ドラフトマスターズスクール講師の内田圭介氏から、産業としてのビール工場発祥の地「横浜」とキリンビールの紹介、ビールの美味しく正しい飲み方など広範囲のビールに関する講話をお聞きました。その後は、提供いただいたビールその他飲み物と、地元野毛料理店の差し入れ料理で、交流が大いに盛り上がりしました。

なお今春、心ない放火によって全焼した「浜マーケット」からの出席者もあり、急遽、募金が集められ「貧者の一燈」となりました。

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。(場所はかながわ県民センター)

7月定例会は7月10日(火)に横浜市まちづくり調整局住宅部住宅計画課担当係長 木村利恵氏に「横浜市アントレプレナーシップ”空き家活用推進”事業について」というテーマで横浜市の空き家事情とそこで展開されている動きなどお話をいただきました。

8月定例会は8月7日(火)に、オーディオブック(聞く本)という新しい分野で起業し事業を拡大されている、ことのは出版有限会社 代表取締役 野村香久氏に「**起業は簡単。成功するのは千人に一人？** —成長するオーディオブック市場を走る企業の奮闘記—」というテーマでお話をいただきます。これから新事業、経営革新を、と検討中の皆様にもぜひお聞きいただきたい、大変有意義な内容です。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)

まんてんプロジェクト最近の話題

千田BC

- 6月8日に平成19年度第一回まんてん全体会合を開催した。出席者は58人と過半数の会員の参加があった。全体会合では昨年度決算、今年度予算および役員人事が承認され、会長には引き続き滝沢氏が就任することとなった。また今年度はJAXA、早稲田大学などとの共同開発プロジェクトを推進すること、及びリニューアルしたまんてんHPの活用などが確認された。
全体会合の後、会員以外の参加も得て、JISQ9100に係る技術セミナーを開催した。(財)防衛調達基盤整備機構(BSK)の審査センターの2名の講師による、JISQ9100の概要、航空機の機械加工部品の概要などが紹介された。その後懇親会を開催したが、今回の全体会合はこれまでにない盛況であった。
- 6月12日、第一回東京都航空機関連産業等研究委員会が開催され、中小企業の参入に関する課題、支援策などが検討された。
- 6月18日から24日まで、欧州最大の航空ショーがパリで開催された。JAXAが産学連携の一環として中小企業の技術展示を行ったが、まんてんプロジェクトから3社が参加した。初めての試みであり、展示規模も非常に限られたものであったが、欧州最大級のシステムメーカー複数社から、見積要求や引き合いがあるなど大きな成果があった。東京都も中小企業の航空関連ビジネス参入支援策の一つとして海外での展示会の支援を検討しており今回の経験は貴重である。
- 6月28日に平成19年度の航空宇宙産業研究会第一回会合が開催された。これは、昨年からの継続であり、異グ連が関東学院大学から委託を受けて5カ年計画で研究するもので、昨年度成果の報告と今年度の進め方が検討された。
- 来る**7月27日午後**、東京青山表参道の「東京ウイメンズプラザ」にて東京都の主催になる「**航空機関連産業参入支援セミナー**」が開催される。
参加無料。申し込みは<http://www.metro.tokyo.jp/INET/BOSHU/2007/06/22h6i200.htm>から。

まんてんプロジェクト関連での詳細問合せは、<http://www.manten-project.org/>

第75回日韓ビジネス協議会(報告)

高橋導徳BC

- 日本企業紹介・・・潤滑油の専門会社/日興産業(株) 課長 藤田浩章氏
韓国企業と輸出または販売提携・合弁など折衝中の潤滑油製造の専門会社である。
- 韓国事業創出センターの状況に関して・・・日本事務所長梁海震氏 代行鄭課長
韓国事業創出センター(韓国中小企業振興公団・日本事務所内)は韓国の中小企業にオフィスの提供、ビジネスのアドバイス、日本企業との提携などをサポートする機関で現在、13企業が入居している。
- 韓国&米国 FTAに関して・・・駐横浜大韓民国総領事館 領事 姜 明逸氏
韓米FTAは2006年6月から交渉を開始して2007年4月に基本合意2007年6月末署名の段階を迎えているが、韓国最大の金属労働組合は反FTAを掲げてストライキなどを予定している。
- メイン講師:「溶融アルミめっきの特性と韓国の現状について」
(財)日本防錆技術協会 防錆管理士会 東日本支部 幹事 月岡泰夫氏
溶融アルミめっきは日本では広範囲に亘って使用されているが、韓国では船舶向けが主力で、一般には溶融亜鉛めっき中心である。溶融アルミめっきは処理温度が700℃で亜鉛400℃より高い。今後、防錆の観点から見なおされるであろう。

第76回日韓ビジネス協議会の開催案内

日 時: H19年07月25日(水) 15:00~17:00 (17:15から懇親会)

場 所: 神奈川中小企業センタービル5階 会議室

内 容: 韓国企業紹介/㈱リッドロックジャパン・理事ソングジェホ氏

日韓連携グループEMS-R2の新部門「Design Product Group」創設について

(株)スリーテック代表取締役社長 久野啓一氏

基調講演: 「新製品SCMイオナイザー、三木プーリー、ABBA直動ガイドなどの紹介」

(株)三宝 営業統轄部長 橋詰希望氏

事務局: かながわ異グ連総会報告、第3回神奈川県/韓国・京畿道との「異業種国際交流会」の提案・検討。

連絡申込先: TEL/FAX045-311-0094 高橋迄 MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

関連イベントなどのお知らせ

<p align="center">第22回神奈川県品質管理セミナー</p> <p>顧客のニーズを満たす製品を、高品質で合理的価格を提供するTQM(総合的品質管理)の実践セミナー。</p> <p>日時:09月04日(火)13:30~17:00</p> <p>場所:神奈川県民ホール小ホール(山下町3-1)</p> <p>内容:特別講演「コマツの品質経営と経営構造改革」 (株)小松製作所代表取締役会長 坂根正弘氏 基調講演1「Q-JAPAN 蘇れ品質立国日本」 東京大学大学院教授 飯塚悦巧氏 基調講演2「一社一家で取り組む品質経営」 (株)西澤電機計器製作社長 西澤泰輔氏 QCサークル事例講演 日産自動車追浜工場 共催:神奈川県、産業技術センター、工業技研連絡会 参加費:無料 申込:神奈川県産技センターHP参照</p>	<p align="center">「札幌IT&BIOビジネスマッチング」 with横浜/川崎</p> <p>北海道の企業と首都圏の企業との事業マッチング。</p> <p>日時:7月24日(火)14:30~18:00</p> <p>場所:パシフィコ横浜 自由参加、無料です。</p> <p>内容(問合せは横浜市、川崎市の各経済産業局へ) IT系:SOC(株)、(株)3L、(株)ネクステック、ほくでん情報テクノロジー(株)、北都システム(株)、北海道地図(株) BIO系:(株)イーベック、北日本化学(株)、(有)クロムソームサイエンスラボ、シーズテック(株)、(株)バイオマティクス、(株)プライマリーセール、北海道曹達(株) 主催者:札幌市、北海道経済産業局、他 横浜市、川崎市、他 後援者:北海道、関東経済産業局、横浜・川崎CCI、他</p>
<p align="center">H19年度神奈川県ものづくり技術交流会</p> <p>昨年までの産学公交流研究発表会を、ものづくり技術交流会として開催します。</p> <p>日時:10月24日(水)~26日(金) 参加・聴講:無料</p> <p>場所:神奈川県産業技術センター(海老名市下今泉)</p> <p>内容:24日/燃料電池/デバイス/分析技術 他 25日/ナノテク/材料技術/情報・計測 他 26日/バイオ/生活工学/異業種交流/資源化/環境・安全/ファインポリマー 他 問合せ:産技センターものづくり技術交流会事務局</p>	<p align="center">中小企業技術革新(SBIR)制度説明会</p> <p>公的補助金活用説明会を今年も開設します。</p> <p>日時:第一回H19年10月11日(木) 13:30~ 第二回H19年11月29日(木) 13:30~ 第三回H20年01月31日(木) 16:30</p> <p>場所:神奈川中小企業センター6階 大研修室</p> <p>内容:公的資金活用企業の体験談、SBIR精度の説明、最新情報、応募のポイント、申請書の記入開設 参加費:無料 問合せ:(社)日本技術士会神奈川県 tel045-210-0337 fax045-210-0338</p>

投稿

技術革新の一端

C&Sグループ副会長 魚崎誠也

6月27日からビッグサイトで行われた機械要素技術展に行き、拾った情報から、三つの話題を紹介して参考としたい。自動車エンジンのピストンを作っていたY社の社長さんは、ついに昨年ピストンの生産が三分の一に減った話をしてくれた。数年前から、親会社は、3年以内に自社製にするという予告を受けていたが、生産が続いていた。昨年遂に、突如打ち切られたとのことである。この会社は、予告された時分から、半導体製造装置の高精度真空吸着テーブルを開発し、今では、そちらのほうに、全力投球中であり、展示物も大小吸着板が並んでいた。次は、ベアリングのリテーナーを作っているT社の社長さんは、展示していたプラスチック製の軸受け装置を示して、3年間で製品の種類は三倍に増えたとのことであった。このT社の親会社であるN社のブースも見たが、今は、単なるベアリングだけでなく、種々のグリースが封入できるようなものとか、ロータリーエンコーダーを組み合わせた、回転計付の軸受けとか、製品の種類は多くなっていた。3社目のA社は、社長さんは不在で、担当者の方から説明を受けた。この会社は、東証一部上場企業で、精密小型スプリングから携帯電話の兆番軸とか、コピー機の回転部分を多量生産している会社である。コピー機に使う新しい装置だといって説明してくれたのは、紙詰まりのときに駆動部分が損傷しないための装置である。原理は、クルマのクラッチと同じで、ばねの強さを加減して、装置に異物が挟まって、抵抗が増えたときに滑らせるだけで、そう難しい装置ではない。しかし、この微妙な装置が大量生産のコピー機に使われるようになったのは、やはりユーザーの使い勝手を少しでも良くしようとする、企業努力ではないかと感心した。このほかにも見ただけでは到底分からないものも沢山あり、やはり技術革新はつづいているなという実感を持った。

かながわ異グ連事務局(神奈川中小企業センター5F)の夏休みは8月13日~17日の1週間です!!

編集室 アフォーリズム(警句)作品展/最優秀賞

時により悪人の悪意よりも、善人の好意により追い詰められることがある!!

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当)mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本、児玉へ